

令和4(2022)年度 第1回美術館協議会の開催について

1、協議会委員

吉村 晴子（会長）
塚越 応鐘（副会長）
時田 裕之
砂田 尚美
永井 智幸
岡田 恵子
近藤 尚子

2、美術館協議会の内容

(1) 令和4年度第1回高崎市立美術館協議会

令和4年11月に開催予定だった第1回協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議として開催した。

[報告内容]

高崎市美術館

- 「5つの部屋+I 多彩なコレクションで巡る高崎市美術館 30年のあゆみ」
- 「あの風景を探しに美術館へ～ヨーロッパ・アメリカ・アジア…絵画旅日和～」
- 「つくる展-TASKO(タスコ)ファクトリーのひらめきをかたちにー」

高崎市タワー美術館

- 「光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界」
- 「描く心、伝える想い」
- 「没後25年記念特別企画 斎藤清版画展 飛翔するノスタルジア」

高崎市山田かまち美術館

- 高崎市山田かまち美術館 令和4年度上半期事業について

榛名湖アーティスト・レジデンス

- 榛名湖アーティスト・レジデンス事業について
- 令和5年度 高崎市立美術館事業について

書面会議により委員から、社会が落ち着きを取り戻し始めているなかで美術館への来館者数が増加しており、芸術・文化活動の再開に寄与しているとの評価がありました。また、展覧会を五感で楽しめた、作者と会話しているような鑑賞体験となった、などの感想もいただきました。一方で、色の薄い作品が使われている看板は目に留まりにくい、来館者だけでなく来館していない市民の意見も吸い上げる努力や多くの人に足を運んでもらう工夫が必要、などのご指摘もありました。